

SONY. Panasonic. DAIKIN

# 賃金未払い 7ヶ月

## 「自由になるのはいつだろう」



発行：2024年9月2日  
第1回改訂：2024年9月24日  
第2回改訂：2024年11月5日  
第3回改訂：2024年12月2日  
第4回改訂：2024年12月10日  
第5回改訂：2024年12月18日  
Andy Hall（人権擁護／移住労働者の権利専門家）  
翻訳：アジア太平洋資料センター（PARC）

**7 Months  
Without Pay**  
When Will We Be Free?"

SONY. Panasonic. DAIKIN

## 目次

1) Kawaguchi 社事案：状況と経緯のアップデート（最新情報と履歴） .....	2
2) マレーシア：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD 社にかかわる問題の概要一覧 .....	6
3) Kawaguchi Manufacturing SDN BHD における強制労働および搾取の嫌疑に関する報告 .....	7
～事例に基づく強制労働・搾取嫌疑の検証	
4) 映像証拠 .....	8
5) 証言事例 .....	10
5-1) 数カ月に及ぶ賃金未払いに直面する日勤労働者	
5-2) 賃金未払いに抗議し、強制送還された労働者	
5-3) 不規則な賃金、罰則や搾取のために辞職する労働者	
5-4) 何カ月も仕事を与えられない労働者	
5-5) 摘発を逃れるために夜勤に回される在留資格のない労働者	

### <筆者について>

アンディ・ホールは、2005年からアジアを拠点に活動する人権擁護者であり、独立系移民労働者の権利の専門家、研究者／調査員、活動家である。英国で生まれ、2005年から2016年までタイに在住。その間、国際的なサプライチェーンにおける移民の権利、エンパワーメント、現代の奴隷制に関する人権擁護者、移民専門家、キャンペーン活動家として国際的に知られるようになる。

移民労働者虐待と大手企業との関係を暴露する彼の活動は、企業行動にいくつかの重要な変化をもたらした。いくつかの前向きな進展があったとはいえ、企業はサプライチェーンにおける移民労働者の虐待に対処するためにもっと多くのことができるはずであり、これをビジネスのやり方の中核に据える必要があると主張している。

<https://andyjhall.org/>

### <翻訳・日本語版に関するお問い合わせ>

特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター（PARC） 担当：田中

PARCは日本に拠点を置くNPO/NGOであり、すべての人びとが対等・平等に暮らせる世界を目指して日本政府・企業の主に途上国での開発事業や取引・投資関係における人権・環境への負の影響を防止するべく活動する。

<https://www.parc-jp.org/>

[office@parc-jp.org](mailto:office@parc-jp.org)



# Kawaguchi 社事案：状況と経緯のアップデート（最新情報）

## <2024年12月18日 更新情報>

### 1. 非公式の操業停止

2024年12月13日、工場は経営陣によって非公式に閉鎖され、経営陣は未払い賃金についてははっきりとしたことは言えないと表明した。経営陣はまた、労働者に対して月々500リンギット（約17000円）の支払い始めるのを2025年9月までできないと述べた。労働者は雇用者からのこの不当な提案を拒否した。

### 2. 退職強要疑惑

2024年12月13日、経営者は労働者との会合を招集し、参加受付であると説明しながら書類に署名をさせた。後にそれは退職届であることが判明した。

### 3. 抗議

その日の夕方、労働者は工場敷地内に集まり、未払い賃金およびその他の補償を求めて抗議を開始した。労働者たちは雇用者の道路を封鎖し、圧力をかけようとダイキンの幹部4人を拘束した。しかし、バングラデシュ高等弁務官事務所職員と警察の介入により、彼らは深夜に釈放された。

### 4. 警察の介入

警察は、現在台湾にいる Kawaguchi 社のオーナーが戻れば、経営陣が問題を解決すると述べた。

### 5. バングラデシュ高等弁務官事務所の介入

バングラデシュ高等弁務団は、翌朝10時までに問題を解決すると労働者に保証した。それを信じた労働者たちは抗議をやめ、午前10時に戻ったが、警察も工場の門も閉ざされていた。

### 6. 経営陣の声明

午後12時、経営陣との会合が行われた。経営陣は、翌年9月から月々500リンギットの賃金を支払う、現在は支払えないと繰り返した。7か月間賃金が未払いだったため、労働者はさらに半年以上待つことを拒否した。

### 7. 現在の状況

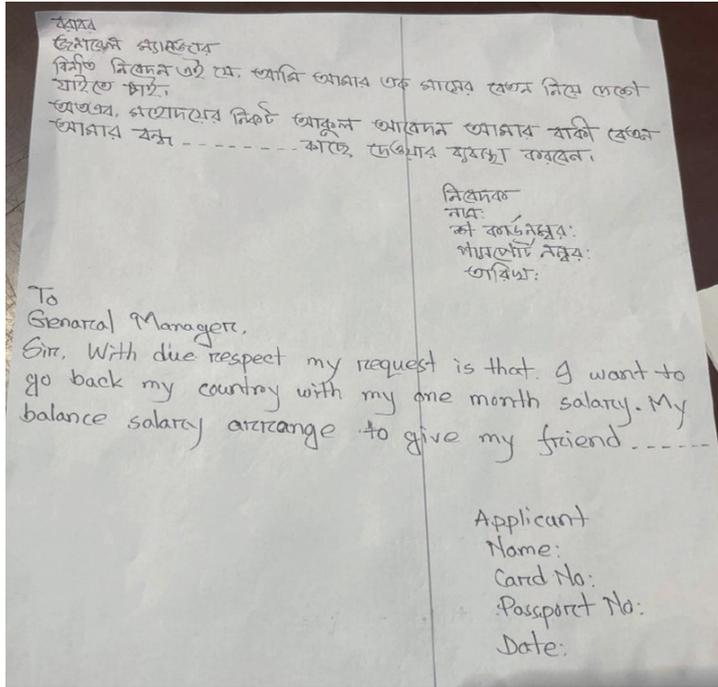
労働者は、食料と金が不足していると述べた。抗議の日に立ち会っていた警察に苦情を述べた後、労働者は、会社が2023年12月15日から2025年12月19日まで食料を手配するらしいと述べた。しかし、労働者らはそれ以降どのようにやりくりするか見当もつかないという。

### 8. 2024年12月18日の会合

会合に参加した労働者は次のように報告した。

- ・帰国と補償を希望する労働者には、1人当たり1,500リンギット（約51000円）と帰国のための航空券が与えられる
- ・残留を選択した労働者には、2025年1月に1人当たり1,000リンギット（約34000円）が支給される
- ・2025年2月と3月は支給なし
- ・2025年4月から10月までは、各労働者に1,000リンギット以上が支払われる
- ・2025年11月までに、残りの支払いはすべて清算される

1) 12月13日、労働者が署名させられた用紙



2) 12月13日、工場内で抗議する労働者



3) 12月13日、工場内で抗議する労働者



4) 2024年12月18日、労働裁判所に向かう労働者たち



5) 2024年12月18日、労働裁判所に向かう労働者たち



# Kawaguchi 社事案：状況と経緯のアップデート（履歴）

## <2024 年 12 月 10 日 更新情報>

●労働者の報告によれば、Kawaguchi 社工場の生産部門では約 70 ～ 80 人の労働者が働いていた。現在ではおよそ 50 人の労働者が残っている。仕事がないため、残りの労働者は解雇された。

●労働者たちによれば、取引企業はすべて金型を引き上げ、Kawaguchi 社工場での生産を終えたか、終えようとしているとのことである

- ・ソニーは 50 型の型枠を工場に置いていたが、今は 1 型も残っていない
- ・パナソニックは 50 ～ 60 型の型枠を工場に置いていたが、今は 1 型しか残ってなく、それもいつ回収されてもおかしくない
- ・ダイキンは 70 ～ 80 型の型枠を工場に置いていたが、今は 14 型しか残っていない
- ・サンデンはすべての型枠を Kawaguchi 社工場に置いていたが、現在は 3 型しか残っていない
- ・パパマイは 50 ～ 60 型おいていたが、現在は 5 型ほどしか残していない
- ・Kito 社は 10 ～ 15 型あったが、今では工場に一つも残っていない
- ・TKR 社は 15 型おいていたが、今は一つも残っていない

●経営陣は、2024 年 12 月 12 日からすべての労働者に 10 日間の休暇を言い渡した

●労働者は、在職中にこれほど長い休暇はこれまでになかったと話す

●管理事務所には生産目標が表示されたボードがあるが、2024 年 12 月 9 日以降の目標は記載されていない

●台湾や中国からの熟練工（エンジニアなど）はすでに全員帰国している

●労働者たちは、これを会社が数日以内に倒産する何よりの前兆だと感じている。労働者は様々な非公式筋の情報から会社が 6 日ほどで倒産すると知らされた

●全ての労働者に、いまだ 4 カ月から 7 カ月分の未払い賃金がある

●220 人の労働者のほぼ全員が有効なビザを保持していない

●労働者らは、前回の更新に引き続き、衛生状態の悪い、狭くて過密な宿泊施設で生活している

## <2024 年 12 月 2 日 更新情報>

●Kawaguchi 社工場で働く 220 名の労働者のほとんどのビザが失効したと同社の労働者が報告した

●手数料を支払っているにも関わらず就労ビザは更新されず、現在は特別許可証の下で滞在している

●ビザの更新が遅れているため、何名かは特別許可証をさらに 2 回更新することになったという

●労働者らはビザ更新のために義務付けられている健康診断を終えられていないために、更新手続きが進んでいないかもしれないと主張している

●労働者らは過密な宿泊施設に住んでおり、40 ～ 60 人が 1 つの部屋を共有しているという

●労働者は全員未払い賃金があるといい、最大で 6 か月分になるという

●ソニーは Kawaguchi 社での生産を停止させ、すべての型枠を持ち去ったと言われている

●パナソニックは生産を停止させたが、一部製品の梱包は続いており、ほとんどの型枠は持ち去られている

●代金とサンデンはまだ Kawaguchi 社で生産を続けているというされている

●約 40 名の労働者が仕事不足のために手持無沙汰になっている

●報告によれば 11 月 5 日に労働者らはもう賃金は支払われないと通達されたという

●雇用者側は労働者に対して、別の会社での新しい仕事を斡旋すると伝えたと言われるが、労働者らは懐疑的である

●労働者は、雇用主が変わることによる潜在的なリスクや、未払い金を誰が清算するのかを懸念している。

# Kawaguchi 社事案：状況と経緯のアップデート（履歴）

## <2024 年 11 月 5 日 更新情報>

- 4～6 カ月分の賃金不払い
- ソニーの Kawaguchi 社との取引停止以降、生産の大幅減少による土日祝日勤務の廃止
- 手数料を支払ったにもかかわらず、ビザの不更新
- 長期間にわたる没収の末、パスポートの返却
- 依然とした宿泊施設の過密状態。一部屋当たり 40～60 人の労働者で共有
- 40～60 人の労働者あたり 2～3 基の便器。(壊れていた便器のいくつかは使用可能な状態へ修繕済み)
- 労働者への脅迫はなくなった
- 約 30 人の労働者が長期間わたって仕事を与えられていない。賃金も補償もなく、終日宿舍で過ごす。未払い賃金と補償待ち。
- 仕事がないため、かなりの数の労働者が 1 日おきに働いている。(例：出荷部門の 17 名と品質保証部門の 44 名)
- ソニーは Kawaguchi 社での製造を停止し、生産設備を撤去。Kawaguchi 社は大幅な生産減に直面し、労働者の不払い賃金が保障される見込みが希薄に
- 最近になって、約 20 人の労働者が仕事不足を理由に解雇
- 約 40 人の労働者を除いて、全 240 人の労働者が生産不足のために 2024 年 12 月までに解雇される見込み

## <2024 年 9 月 24 日 更新情報>

- 5～8 ヶ月分の賃金不払い
- 合意されていた週末および休日労働に対する報酬の不払い
- 労働者に賦課金の強要
- 数年に渡るビザ更新の遅滞
- 数年に渡るパスポートの没収（最近になって返却済み）
- 一部屋に 50～70 人の労働者が同居する過密な宿泊施設
- 政府による最低賃金 1500 リンギットへの引き上げ以降、適合する賃金への昇給遅延
- 不衛生で機能しない便器
- 50～70 人の労働者に対し 2 基しかない便器
- 搾取に反対する発言に対する拘留・国外追放等の脅迫
- 賃金未払いに抗議した労働者 4 名に対する強制送還
- 2007 年から 2010 年の間、賃金未払いに抗議したバングラデシュ人およびネパール人労働者約 200 名の強制送還
- Kawaguchi 社を通じたソニー、パナソニック、ダイキンなどの大手ブランドによる強制労働
- 時に 1 日 24 時間や週 7 日の勤務を伴う過重労働
- 視察の目を避けるために、在留資格のない労働者の夜勤配置（午後 8 時～午前 8 時）
- 複数の労働者に対する、補償や賃金払いのない 2 か月にわたる仕事外し
- テレビ取材に対する肯定的コメントの強要
- 些細なミスやヒューマンエラーに対する罰則金

## マレーシア：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD 社にかかわる問題の概要一覧

### <パスポート没収:>

労働者のパスポートは到着時に没収され、移動の自由が制限され、完全に会社に依存するようになったとされる。

### <在留資格を持たない労働者の雇用>

会社がビザの更新を怠ったため、有効なビザを持たずに働いているとされる労働者がいる。

### <脅迫と恫喝>

賃金未払いや労働条件について懸念を表明した労働者は、拘留、国外退去、警察沙汰にすると脅されたとされる。懲罰としてバングラデシュに強制送還された者もいたとされる。

### <賃金不払い>

労働者は最大6カ月間賃金を支払われていないとされ、労働者とその家族に深刻な経済的苦痛をもたらしている。

### <過重時間>

労働者は祝日を含む週7日の労働を強いられ、残業手当も支払われないとされ、権利を侵害されている。

### <高額斡旋料と債務による束縛>

労働者は借金を通じて法外な斡旋料を支払っており、債務による束縛を受けているとされる。賃金不払いはその経済的困難を悪化させている。

### <主要ブランドによる Kawaguchi 社製品の採用>

Kawaguchi 社は、パナソニック、ダイキン、ソニーなどの大手ブランドのプラスチック部品を生産しているとされ、これら企業も強制労働の嫌疑に関与している可能性がある。

### <過密で劣悪な居住環境>

労働者は過密で息の詰まる状況で生活していると言われ、多くの労働者が一室を共有することになっている。

### <汚く不衛生な便器>

労働者に提供されるトイレ設備は汚く不衛生で、劣悪な生活環境の一因となっているとされる。

# Kawaguchi Manufacturing SDN BHD における 強制労働および搾取の嫌疑に関する報告 ＜事例に基づく強制労働・搾取嫌疑の検証＞

## 【はじめに】

本報告書は、Kawaguchi Manufacturing SDN BHD の労働者が直面している状況を浮き彫りにし、強制労働と搾取の深刻な嫌疑を強調するものである。労働者は 2018 年に移住した者もいれば、2023 年に移住した者もいるなど、移住した年は異なるが、全員が強制労働や様々な形態の搾取を受けているとされる。以下のレポートでは、これらの労働者が遭遇した具体的な搾取要因について概説する。

## 【強制労働】

### パスポートの没収

労働者の報告によると、パスポートはマレーシア到着後すぐに没収されたとされる。この措置により、移動の自由が制限され、出国、転職、法的支援を求めることが不可能になったとされる。ここで嫌疑がかけられているパスポート没収行為は、労働者を雇用者に全面的に依存する脆弱な立場に置くため、強制労働の重要な指標となる。

### 有効なビザの欠如

雇用者側が労働者のビザ有効期限が切れた後も更新を怠ったため、約 70 ～ 80 人の労働者が有効なビザを持たずに働いていたとされる。このため、労働者は在留資格を持たない労働者となり、搾取に対する脆弱性が増し、不法滞在のため助けを求めることを恐れているとされる。一方、約 200 人の労働者は 9 月にビザが切れるため、在留資格を失う危険にさらされているが、経営陣はビザの更新に消極的なようだ。これまでパスポートの更新に踏み切った例もない。

### 脅迫と恫喝

労働者が賃金未払いや劣悪な労働条件などの不満に対処しようとする、経営陣による脅迫や恫喝に遭ったとされる。同社は、労働者が抗議を続ければ、拘留、国外追放、警察の介入を行うと脅したとされる。伝えられるところによると、懸念を表明した 4 人の労働者は、ある種の懲罰としてバン格拉デシュに強制送還されたとされる。

## 【労働搾取】

### 賃金不払い

労働者らは長期間賃金が支払われていないことを報告しており、最長で 6 カ月間賃金が支払われていないという者もいる。合意に基づいた賃金が支払われないことは、労働者の権利のあからさまな侵害であり、搾取の決定的な形態である。この不払いは、労働者とその家族に深刻な経済的苦境をもたらし、子どもたちが学校を退学せざるを得なくなったり、食事などの基本的なニーズが満たされなくなったりする事態を招いたとされる。

### 手当のない過重労働

労働者は、追加手当なしに、祝日を含む週 7 日の労働を要求されたとされる。この慣行は、公正な報酬なしに過重労働を要求するものであり、労働者の権利と労働基準に違反しているとされる。

労働者の報告によると、最大 24 時間シフト制で、法定時間外手当を受け取ることなく祝日に働かされていた。

#### 高額な職業斡旋料と債務による束縛

伝えられるところによると、2023 年に Kawaguchi 社で採用された労働者は、公式な斡旋費用が 78,990BDT (1 タカ=約 1.3 円) であるのに対し、最高 515,000BDT を支払ったという。採用プロセスには法外な手数料がかかり、労働者は家族、銀行、NGO などさまざまな筋からの借り入れでまかなわなければならないとされる。こうした高額の手数料は、嫌疑のかけられている賃金不払いと相まって、労働者を借金苦に陥れている。安定した収入なしにこれらのローンを返済する負担となり、金貸しからの嫌がらせや家族の基本的なニーズを満たすことができない状況など、深刻な経済的苦境につながったとされる。

### 【大手企業との関係】

パナソニック、ソニー、ダイキンと Kawaguchi 社の関係

Kawaguchi Manufacturing SDN BHD は、パナソニック、ダイキン、ソニーなどの大手グローバル企業の製品に使用される様々なプラスチック部品を生産しているとされている。これらの部品は、例えばエアコン、スマートテレビ、LED テレビ、リモコン、ボタンなどの必要不可欠なプラスチック部品が含まれる。著名なブランドが、強制労働に従事している企業と関連しているとされる事実は、深刻な倫理的懸念を引き起こす。この関係は、パナソニック、ダイキン、ソニーのような大企業がサプライチェーンで間接的に強制労働を採用している可能性を示唆しており、その評判を落とすものであるだけでなく、国際労働基準に違反する可能性もある。

### 【劣悪な生活環境】

過密で劣悪な宿泊施設にかかわる嫌疑

労働者に提供される宿泊施設は悲惨で息が詰まると言われている。相当数の労働者が一室に押し込められ、極端な過密状態に陥っているとされる。適切な居住スペースの欠如が、ただでさえ過酷な労働環境をさらに悪化させ、労働者の全体的な搾取と劣悪な待遇を助長しているとされる。

汚くて不衛生な便器にかかわる嫌疑

労働者はまた、会社によって提供されたトイレ設備が汚く不衛生だと報告した。適切な衛生環境の欠如は深刻な保健リスクをもたらし、会社による労働者の福祉の軽視を反映している。過密な宿泊施設と不衛生な便器が組み合わさっていることは、労働者が直面している劣悪な生活環境をさらに浮き彫りにするものである。

---

### 【結論】

Kawaguchi Manufacturing SDN BHD の状況は、強制労働と搾取の申し立てを例証するものである。パスポートの没収、有効なビザの欠如、賃金の不払い、報酬のない過重労働、国外退去の脅迫、劣悪な生活環境などの嫌疑はすべて、国際労働基準に対する深刻な違反である。さらに、このサプライチェーンにパナソニック、ダイキン、ソニーなどの大企業が関与していることは、製品の生産に強制労働が使用されている疑いがあるという重大な倫理的懸念を引き起こしている。移住労働者の権利を保護し、公正な補償を行い、生活条件を改善するための法的措置を含め、これらの違反の疑いに対処するための早急な行動が必要である。さらに、大手企業はサプライチェーンを再検証し、こうした搾取的慣行に加担していないことを確認しなければならない。

## <映像証拠>

1) 給与不払いに抗議する労働者たち



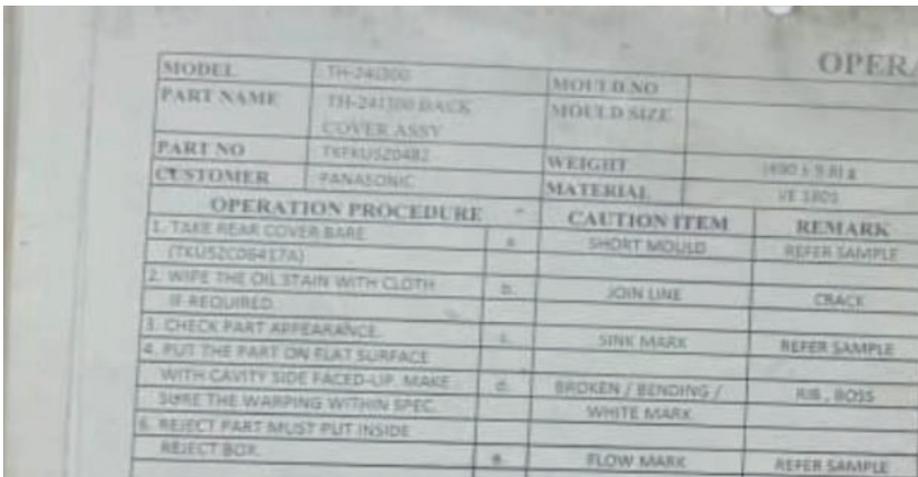
2) 息の詰まるような宿舎



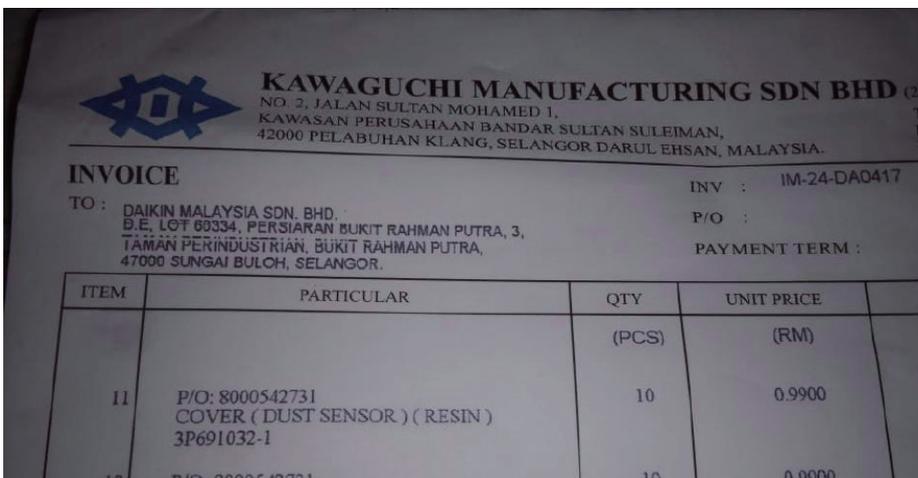
3) ソニーとの取引証拠 (Kawaguchi 社工場からの写真)



4) パナソニックとの取引証拠 (Kawaguchi 社工場からの写真)



5) ダイキンとの取引証拠



証言事例 01 (2024年8月31日)

労働者：X (安全のため、個人情報秘匿されています)

雇用者：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD

---

## 背景分析

1. 採用前の収入源は何でしたか？

とても小さなレストランを経営して生計を立てていました。

2. 十分な収入がありましたか？

十分でしたが、政治的な問題もあり、経営が困難になりました。そのため、マレーシアに来ることにしました。

3. 家族構成は？

両親、子供、妻がいます。

4. 家族で主たる稼ぎ手は誰ですか？

私が一家の大黒柱です。

5. マレーシアの斡旋企業をどのようにして知りましたか？

近所の仲介人がマレーシアの斡旋企業について教えてくれました。その後、彼は代理店を通じて移住の手続きを手伝ってくれました。

6. 斡旋企業の名前を教えてください。

私が移住したのはかなり前のことなので、代理店の名前は思い出せません。また、仲介業者が私の代わりにすべての手続きを行ってくれました。私が必要なお金と書類をすべて彼に渡し、彼がそこからの手続きを引き受けてくれました。

7. 斡旋にはいくら払いましたか？

2018年に移住し、その時に350,000BDTを支払いました。

8. 斡旋費用はどのように工面しましたか？

斡旋費用は複数からの借り入れで全体を捻出しました。

9. 斡旋費用を証明する書類はありますか？

いいえ、証拠はありません。

10. 現在、借金はありますか？

はい。実は、パンデミックが始まった当初、私は母国を出ることができず、期間中ずっと仕事に戻ることができませんでした。その結果、長い間稼ぐことができませんでした。総じて、私のこれまでの収入は、債務とその利子を返済するのに十分ではありません。

11. バングラデシュからマレーシアに移住した動機は何ですか？

私は経済的に破綻しています。より良い収入を得て、自分の将来を確保するためにマレーシアへの移住を決意しました。

## 現状分析

1. マレーシアに来たのはいつですか？

2018年9月3日、US バングラ航空機でマレーシアに来ました。

2. 同じ便で何人か労働者が一緒にマレーシアに来ましたか？

同じ便に12人くらいいて、みんな同じ会社で働くために来ました。

3. バングラデシュで同じ斡旋企業に手配されたのですか？

はい、同じ斡旋企業によって手配されました。

4. マレーシアで同じ会社に斡旋されたのですか？

はい、全員が Kawaguchi 社に斡旋されました。

5. Kawaguchi 社はどのような製品を製造していて、顧客は誰ですか？

Kawaguchi 社は、パナソニックとソニーの LED テレビのプラスチックフレーム、背面カバー、リモコン、エアコンのプラスチック部品、テレビのボタン、その他しばしばパナソニックとソニーの製品に使われるプラスチック製品を生産しています。

6. 現在、どのような問題に直面していますか？

この半年間、給料が支払われていません。それだけでなく、私の仲間の約70～80人の労働者にも給与が支払われていません。私に対しては15,000RMの給料が未払いです。私が一家の稼ぎ手だったので、私の子どもたちは学校に行かなくなり、年老いた両親、幼い子どもたち、そして妻は、まともに食べるのにも苦労しています。

7. パスポートはどこにありますか？

パスポートは到着したその日に没収されました。もう手元にはありません。

8. パスポートの返却を求めましたか？

いいえ。パスポート没収はこの会社のルールなので、返してもらえないとわかっていました。

9. 有効なビザを持っていますか？

いいえ、有効なビザは持っていません。2018年にこの会社に入社した後、私のビザは一度も更新されていません。

10. 他に言いたいことはありますか？

いいえ、規定通りの給与を受け取り、借金を清算したいだけです。

11. 現在の正確な住所はどこですか？

宿舎は工場の隣です。場所は Kawaguchi Manufacturing Sdn Bhd, 2 Jalan Sultan Mohamed 1, Bandar Sultan Suleiman, Pelabuhan Klang, Kapar, 42000, Klang, Selangor, Malaysia です。

## 証言事例 02 (2024 年 8 月 31 日)

労働者：Y (安全のため、個人情報秘匿されています)

雇用者：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD

---

### 背景分析

1. 採用前の収入源を教えてください。

学生で収入はありませんでした。

2. 家族構成は？

両親と妹が 3 人います。

3. 家族で主たる稼ぎ手は誰ですか？

父は唯一の稼ぎ手でしたが、かなり高齢なので、私が経済的な責任を負おうとしています。

4. マレーシアの斡旋企業についてどのように知りましたか？

マレーシアの斡旋企業については親戚から聞きました。その後、移住手続きを代行する会社に連絡しました。

5. 斡旋企業の名前を教えてください。

当初はムハマド・トレード・インターナショナルという代理店が移住手続きを進めてくれましたが、その後、残りの手続きをムビン・インターナショナルに引き継ぎました (RL: 1567)。ムビン・インターナショナルが、私がバングラデシュからマレーシアに移住する際の主な仲介者でした。

6. 斡旋にいくら払いましたか？

500,000BDT の移住費を支払いました。さらに、健康診断に 10,000BDT、指紋登録に 5,000BDT を支払いました。合計で約 515,000BDT でした。

7. 斡旋費用はどのように工面しましたか？

親戚や義理の兄から借りました。銀行や NGO からも借りました。かなりの金額だったので、捻出するのは簡単ではありませんでした。

8. 斡旋費用を証明する書類はありますか？

いいえ、ありません。領収書も出してもらえませんでした。

9. 現在、借金はありますか？

はい、あります。ヤミ金業者が私の家族に嫌がらせをしています。

10. バングラデシュからマレーシアに移住した動機は何ですか？

家族の経済状況を改善し、将来を安定させたかったからです。

11. マレーシアの斡旋先についてどのように聞きましたか？

残業代込みで 5 万～6 万 BDT 稼げる良い会社だと聞きました。また、宿泊施設や食事が充実していると聞きました。とても魅力的でした。

## 現状分析

1. マレーシアに来たのはいつですか？

2023年11月9日にマレーシアに来ました。

2. 同じ便で何人か労働者が一緒にマレーシアに来ましたか？

労働者 97-98 人が同じフライトに乗っていました。

3. バングラデシュで同じ斡旋企業に手配されたのですか？

はい、私が知る限り、私たちは全員同じ仲介人によって斡旋されました。

4. マレーシアで同じ会社に斡旋されたのですか？

はい、私たちは全員、Kawaguchi Sdn Bhd に斡旋されました。

5. Kawaguchi 社はどのような製品を製造していて、顧客は誰ですか？

Kawaguchi 社では、パナソニックのエアコン、LED テレビ、リモコンなどの生産に必要なプラスチックフレーム、ボタン、カバーなどのプラスチック部品を生産しています。

6. 現在、どのような問題に直面していますか？

定期的に給料が支払われません。一部支給はされていますが、未払い給与は 12,000BDT を下りません。さらに、私たちは週 7 日、月 30 日働いており、月に 1 度 24 時間シフトがあり、祝日も割増手当はありません。より多く稼ぐために毎日働くのは構わないのですが、毎月毎日働いても給料が支払われないのは容認できません。約 200 人の労働者がこの 5～6 カ月にも渡る給与不払いに苦しんでいます。

7. 経営陣と話をしましたか？

ええ、しようとしたのですが、彼らは気にしていないようです。私たちはもう仕事に行くのをやめました。先週の木曜日と金曜日は出勤しませんでした。

8. 経営陣の反応は？

経営陣は私たちを脅しています。すでに 4 人の内部告発者がバングラデシュに送還されました。また、拘留や送還の脅しもかけています。このまま続ければ警察に通報すると言っています。

9. パスポートはどこにありますか？

私たちのパスポートはマレーシア到着日にすべて没収されました。

10. パスポートの返却を要求しましたか？

いいえ。私は給与の支払いを要請しました。今はそれが一番重要な問題です。

11. 有効なビザを持っていますか？

有効なビザは持っていますが、多くの労働者のビザはあと 1 週間で失効します。会社は更新に消極的なようです。

12. 他に言いたいことはありますか？

私はひどい状況にあるということをお願いだけです。私だけでなく、何百人もの労働者が同じ状況に置かれています。毎日毎日給料も支払われずに働いています。家族も苦しんでいるし、私たちも苦しんでいます。みんな借金も返さないといけません。何よりも給料を定期的に支払ってほしいのです。

13. 現在の正確な住所はどこですか？

Kawaguchi Manufacturing Sdn Bhd, Kawaguchi Manufacturing Sdn Bhd 2, Jalan Sultan Mohamed 1, Bandar Sultan Suleiman, Pelabuhan Klang, Kapar, 42000, Klang, Selangor, Malaysia.

証言事例 03 (2024 年 9 月 10 日)

労働者：Z ( 強制送還された労働者 )

雇用者：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD

---

## 背景分析

1. 採用前の収入源を教えてください。

マレーシアに出稼ぎに行く前は学生でした。ですから、収入源はありませんでした。父も十分な収入がなかったので、経済的に苦しかったです。

2. 家族構成は？

両親と 3 人の姉妹がいます。

3. 家族で主たる稼ぎ手は誰ですか？

父は体調が悪いので、私一人が家族全員の面倒を見ています。

4. マレーシアの斡旋企業をどのようにして知りましたか？

私の隣人が仲介人でした。彼がマレーシアの斡旋企業について教えてくれました。私は仲介業者と直接やり取りをしたことはなく、彼を通じて連絡を取りました。お金の支払いと書類提出はすべて彼を通して行いました。彼は、仲介業者の名前が Adib Agency だと教えてくれました。

5. 斡旋にはいくら払いましたか？

480,000BDT を支払いました。それに加えて、健康診断のために 10,000BDT を支払う必要がありました。

6. 斡旋費用はどのように工面しましたか？

私はとても貧しい出身です。お金は複数のところから借り受けて全額捻出しました。

7. 斡旋費用を証明する書類はありますか？

いいえ、支払い証明はありません。

8. 現在、借金がありますか？

もちろんあります。全額借りましたし、マレーシアではまともに支払われませんでした。斡旋会社が約束通りに給料を払ってくれなかったため、返済ができなくなりました。毎月利子がつくので、この借金はどうにもなりません。

9. バングラデシュからマレーシアに移住した動機は何ですか？

私は貧しい家庭の出身で、父が体調を崩しており、家族の面倒を見なければならず、経済的な責任も負わなければなりません。家族のことを考え、実質的な収入を得るためにマレーシアへの移住を決意しました。

10. マレーシアの斡旋先についてどのように聞きましたか？

マレーシアに行く前に、斡旋先は電気電子の会社だと聞いていました。基本給は月 1500 リンギットで、残業や臨時収入もある良い会社だと聞いていました。休日に働けば、かなりの収入を得ることができると。さらに、とても快適な住居の手配もあると聞いていました。

## マレーシアで直面した状況

1. マレーシアに来たのはいつですか？

マレーシアに来たのは2023年11月4日にUS バングラ航空でマレーシアに来ました。バングラデシュからマレーシアへのフライトは午後12時5分の便で午後6時にマレーシアに着陸しました。

2. 約束と現実に食い違いはありましたか？

マレーシアに着いて、約束はすべて嘘だと気づきました。

宿泊施設からその他の施設、給与支払いに至るまで、何もかもが約束と違っていました。

3. 宿泊施設やトイレはどうでしたか？

まったく快適ではありませんでした。20～40人の労働者が一室を共有していました。息の詰まる暑い環境でした。冷却のための扇風機は自前で買わなければなりませんでした。私のベッドは窓際にあり、雨の日はいつもベッドが濡れました。トイレは非常に汚く、ほとんどは壊れていました。水道もしばしば壊れていました。一部の労働者は近くのレストランの外水道をシャワー代わりに借りなければなりませんでした。

4. 勤務時間や給料はどうでしたか？約束通りでしたか？

まったく。最大の問題は給料の不払いでした。私たちは30日間毎日3時間の残業をしました。休暇はなく、24時間働き続けなければならないこともありました。支払いは不定期で、私はいまだにKawaguchi社から受け取っていない給与があります。

5. 給与不払いに抗議しましたか？

はい、抗議しました。その結果、1カ月の停職処分を受けました。その後、抗議のために強制送還されました。

6. 給与不払いの証拠はありますか？

はい、あります。

7. 強制送還の経緯を教えてください。

抗議の後、私は停職処分を受けました。1ヵ月後、雇用主から事務所に呼び出され、私は復職するものと思っていました。それどころか、携帯電話を押収され、書類も読ませずに署名を強要され、警察に引き渡され、そして強制送還されました。私は宿舎から荷物を受け取ることをさせてもらえませんでした。

.8 強制送還を証明するものはありますか？  
入国管理局の出国スタンプが押された  
パスポートならお見せできます。



9. Kawaguchi 社での勤務中、パスポートはどこにありましたか？

パスポートはマレーシアに到着したその日に没収され、強制送還される飛行機に乗る直前まで返却されませんでした。

10. 拷問を受けたことはありますか？

精神的な拷問を受けました。強制送還を脅しに使われました。病気のときに休ませてもらえなかったり、給料が支払われなかったりしたことで、私と家族全員が影響を受けました。

11. ペナルティを受けたことはありますか？

はい、私は何度かペナルティを受けましたし、同僚の多くも頻繁にペナルティを受けていました。製品に傷や小さな破損があったり、製造工程でミスがあったりすると、10 リンギット（約 340 円）の罰金でした。しかし、ソニーのサウンドシステムのような特定の製品に携わる場合の罰金はもっと高額でした。サウンドシステムの前部には、SP シートと呼ばれる繊細なメッシュ状のネットが張られていました。その SP シートを傷つけたり、ミスをしたりとすると、50 リンギット（約 1700 円）の罰金が科せられました。

SP シートの制作は、非常にスピードが要求されました。1 時間に 4、5 人のチームで 100 枚ほど用意しなければならず、これは非常に高い目標でした。しかし、問題はミスが許されないことでした。たとえ小さなミスでも、ミスをした本人だけでなくチーム全体に罰金が課されました。一人がミスをすればチーム全体に罰則が課せられ、その罰金は最高で 500 リンギット（約 17000 円）に達することもありました。目標を達成しなければならないなかで、些細なミスが高額の負担になるというプレッシャーの中で仕事をしていたため、大きなストレスになっていました。

Kawaguchi 社で働いた 8 ヶ月間、私は毎月のようにペナルティを課されました。要求されるハイスピードの状況下で完璧を期すことは不可能であり、その結果、私はチームとともにしばしばペナルティに直面しました。

12. 他に何か伝えたいことはありますか？

はい、給料未払いに関する抗議行動は、私の時代以前にも過去に起きていたことをお伝えしたいと思います。2007 年から 2010 年にかけて、同じく賃金未払いの問題に直面していたバングラデシュやネパールの労働者が主導した同様の抗議行動がありました。これらの労働者は、私と同じように安定した収入を得ることを期待してマレーシアに来たのですが、彼らもまた騙されていました。斡旋企業や雇用主は、給与支払いに関する約束を守らなかったのです。

その間、主にバングラデシュとネパール出身の約 200 人の労働者が、正当な賃金を求めて抗議行動に参加したと聞いています。残念なことに、当局は問題を解決したり補償したりする代わりに、抗議行動を抑える手段としてこれらの労働者を国外追放することを選んだのです。彼らの多くは、支払われるべき賃金を受け取ることなく母国に送り返されました。強制送還は他の労働者への警告となり、労働者が自らの権利のために立ち上がった、自分たちが直面している不当な扱いに疑問を持ったりすることを思いとどまらせることになりました。

13. 今、あなたが期待していることは何ですか？

補償を受けたいし、未払いの給与を清算してほしいと思っています。

14. 今はどこに住んでいますか？

現在はバングラデシュにいます。

証言事例 04 (2024年9月20日)

労働者：E (自己都合退職者)

雇用者：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD

---

## 背景分析

1. 採用前の収入源は何でしたか？

マレーシアに来る前は学生でした。

2. 家族構成は？

両親と兄弟がいて、私は長男です。私は国でも有名な大学に入学しました。明るい未来があると信じていましたが、途中で勉強をやめ、家族を養う責任を負いました。

3. マレーシアの斡旋企業をどのようにして知りましたか？

近所の仲介人から、マレーシアで就職するために移住することを勧められました。Yamahaという有名な会社で「良い」仕事だと言ってくれました。それが Kawaguchi という会社だと知ったのは、ビザを受け取った日のことでした。

4. 斡旋企業の名前を教えてください。

Darbar Global Overseas (RL No. 1295) と Prantik Travel and Tourism (RL No. 310) です。この2社が、バングラデシュからマレーシアへの移住を手配しました。

5. 斡旋にはいくら払いましたか？

6,500BDT と指紋採取費用 5,000BDT を除き、370,000BDT を支払いました。

6. 斡旋費用はどのように工面しましたか？

全額借りました。私はとても貧しい出身なので、支払うための十分な資金がなく、銀行や親戚から借りる以外の選択肢はありませんでした。

7. 斡旋費用を証明する書類はありますか？

いいえ、ありません。領収書を発行してもらえませんでした。

8. 現在、借金はありますか？

私より後にサウジアラビアに移住した弟が返済を助けてくれたので、今はありません。ただ、当初は借金を返すのにかなり苦労しました。

9. バングラデシュからマレーシアに移住した動機は何ですか？

家族への経済的責任を果たしたかったからです。先ほども言ったように、私は本当に貧しい家庭の出身なんです。

10. マレーシアの斡旋先についてどのように聞きましたか？

ヤマハで働く聞いていましたが、後で嘘だとわかりました。彼らはまた魅力的な給料と良い宿泊施設も謳っていましたが、しかし、宿舎は本当に過密状態で息苦しかったです。良い給料を約束されたのに、給料は何カ月も払われないうままでした。

## Kawaguchi 社で直面した状況

1. マレーシアに来たのはいつですか？

2018年8月にマレーシアに来ました。

2. 同じ便で何人か労働者が一緒にマレーシアに来ましたか？

この日、Kawaguchi社で働くために約50人の労働者が2つの異なる便でマレーシアに渡りました。

3. Kawaguchi社はどのような製品を製造していて、顧客は誰ですか？

Kawaguchi社は、ソニー、パナソニック、ダイキンなど様々な有名ブランドのプラスチック部品、フレーム、背面カバー、その他のプラスチック製品を生産しています。

4. 現在、どのような問題が発生していますか？

支払いが不規則だったため、退職してバングラデシュに戻りました。5ヶ月分の給料が未払いでした。工場でのヒューマンエラーに対して、雇用者側は労働者に金銭的なペナルティを課しました。例えば、どんな小さなミスに対しても、5～10リングギット（約170～340円）のペナルティを課しました。ソニーの製品を製造しているときのミスの場合は、罰金はもっと高くなり、ミスやソニーからのクレームに対する罰金は50リングギット（約1700円）になりました。さらに、ミスをする则一日中、特別な帽子（写真添付）をかぶせられ、とても恥ずかしい思いをしました。私たちは人間であり、ミスをしなわけではありません。その上、週7日、1日12時間働くこともあり、本当に疲れ果ててしまいました。そんな状況ではミスも起こり得ます。だから私はバングラデシュに戻ることにしました。出発前に4カ月分の給料は支払われましたが、5カ月分の給料は未払いでした。経営陣はとても狡猾で、週末や祝日に働いた分の手当を支払わず、その日は割増賃金のない通常勤務とみなされていました。

5. パスポートはどこにありますか？

マレーシア滞在中、私のパスポートは雇用主に没収されました。

6. バングラデシュに戻ったのはいつですか？

約1カ月半前に帰国しました。

7. 宿舎はどうでしたか？

宿舎は本当に暑くて息苦しく、50～60人の労働者が一部屋を共有していました。70人の労働者に対し、トイレは2つしかありませんでした。トイレの多くは完全に機能しておらず、電灯がないものもあって暗かったです。さらに、トイレは非常に汚く、壊れているものもありました。

8. 他に言うことはありますか？

はい。私が2018年にKawaguchi社に採用されたとき、政府が定めた最低賃金は1,000リングギット（約34,000円）でした。しかし、政府が最低賃金を1,500リングギットに引き上げたとき、Kawaguchi社はこの変更を社内で実践するのに長い時間を要しました。その上、Kawaguchi社は私たちの給与から150リングギットを賦課金として天引きしました。また、Kawaguchi社で働く私の同僚の多くが6～7ヶ月間給与が未払いであり、その多くが有効なビザを持っていないこともお知らせしたいと思います。彼らを助けていただくと大変助かります。

## 証言事例 05 (2024 年 9 月 22 日)

労働者：A,B,C

雇用者：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD

---

Kawaguchi 社の労働者 A、B、C との会話の中で、彼らは 5 カ月分の未払い賃金を受け取っていないことを強調した。彼らは全員 2018 年に移住した。現在、14 人の労働者が仕事がないために 7 月 31 日から働いていない。当局によって働くのを止められた 8 月と 9 月を除いても、それ以前の 5 カ月分の賃金が未払いのままである。仕事も支払いもない間の補償も待っていた。今は 5 カ月分の未払い賃金清算を求めることに専念している。

労働者 A は、週 7 日働くこともあり、非常に懸命に働いてきたと述べた。しかし、週末や祝日に働いた分の賃金が支払われることはなかった。「Kawaguchi 社は 6 ヶ月間私たちに賃金を支払ってくれませんでした。その上、この 2 ヶ月間仕事がないのは本当に悔しいです。この 8 カ月間、収入はゼロです。家族への仕送りもできていません。私の子どもたちは、特に食事と教育で困難に直面しています。経営陣は、補償にはそれほど時間はかからないと言い続けていますが、すでに 2 カ月が経過しています。いつまでかかるのか、いつになったら支払いが完了するのか、見当もつきません」。労働者 B は、川口で働くことは不愉快な経験だったと付け加えた。「休日出勤や週末出勤の賃金が十分に支払われていないだけでなく、ミスをすると罰金を課されました。罰金は 1 ミスにつき 10 ～ 50 リンギット (約 340 ～ 1700 円) でした。ソニー、パナソニック、ダイキンなどの会社のために働き、ソニー製品に対するミスの罰金が最も高かったのです。」

労働者 A、B、C は、川口で働き始めたときにパスポートを没収されたと報告した。何度も書面で文句を言って監査を受けた末によく返却されたがビザはまもなく失効する。さらに、彼らは Kawaguchi 社での仕事を斡旋してもらうために 35 万～ 40 万リンギットにのぼる法外な仲介料を全員が支払っており、債務に束縛されている。

労働者 C は、会社の行動がさらに問題になっていると指摘した。「ビザが切れた労働者が 100 人ほどいますが、監査役や記者に見つからないように、夜 8 時から朝 8 時までの夜勤をしています。また、会社は労働者に対し、賃金の不払いや過去 2 カ月間仕事がないことなど、社内の問題を部外者に話さないよう常に脅しています。

例えば、賃金を受け取っていないとか、ここ 2 カ月間仕事がないとか。文句を言えば、仕事を止められ、賃金の支払いも拒否されるかもしれない。それだけでなく、記者に会社の良いところを言うよう、数人の労働者に強要してきました」。

まとめると、川口の労働者はさまざまな方法で強制され、脅迫され、搾取されているとされる。

## 証言事例 06 (2024 年 9 月 23 日)

労働者：夜勤の在留資格のない労働者

雇用者：Kawaguchi Manufacturing SDN BHD

---

夜勤労働者との短い会話の中で、約 80 ～ 100 人の労働者がビザの有効期限が切れているにもかかわらず、更新しようせず、現在夜勤で働いていることが明らかになった。過去 5 ～ 7 カ月分の給与は未払いのまま。当局は労働者を脅し、これらの問題について監査役や記者、調査官に話さないよう警告している。もしそうすれば、彼らは職を失うだけでなく、未払い賃金を没収される危険性がある。

さらに、労働者たちは厳重に監視されており、特に携帯電話による通信が傍受されているのではないかと懸念がある。このことが労働者たちに恐怖心を植え付け、ほとんどの労働者は、最終的に支払われるべき賃金を受け取れることを望んで沈黙を守っている。この夜勤労働者はまた、ソニー、パナソニック、ダイキンといった企業の製品を製造する際にミスを犯すと、金銭的なペナルティが課されると主張した。さらに、休日や週末に働いた分の賃金が支払われなかったという。

全体として、Kawaguchi 社の労働者はソニー、パナソニック社、Daikin のようなトップブランドで働く間、強制労働、強要、搾取を受けているとされる。Kawaguchi Sdn Bhd の慣行は、深刻な人権侵害を示しているとされる。